

2018-2019 ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 12



BE THE INSPIRATION

インスピレーションになろう

国際ロータリー第2510地区 2018～2019年度 ガバナー 小 山 司

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
E-mail: rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>

2018-2019年度国際ロータリーのテーマ
「インスピレーションになろう」



**国際ロータリー第2510地区
 2018-2019年度地区目標**

——— 持続可能な絶え間なき変革のスタート ———

1. 組織を活性化しよう

- (1) 会員の維持、増加の推進
- (2) 女性会員の増強
- (3) クラブ役員、地区委員への若手登用の推進

2. ロータリーの認識・理解を深めよう

- (1) 会員研修の充実・強化
- (2) クラブ相互間、グループ相互間等のコミュニケーションの活発化
- (3) ガバナー月信の内容充実、電子化の推進

3. 地域社会との関わり合いを深めよう

- (1) 人道的奉仕活動の推進、ロータリー財団補助金の活用
- (2) 青少年活動の支援・強化、地域社会との連携
- (3) 広聴活動の推進

CONTENTS

●ガバナーメッセージ.....	1	●「美しい心をロータリーとともに」 ～第12グループインターシティーミーティングを終えて～.....	9
●疾病予防と治療月間にちなんで.....	2	●ガバナー公式訪問報告.....	10
●次期ガバナー補佐会議報告 ～福田年度の活動充実を確認～.....	3	●新会員のご紹介/訃報.....	14
●ディスカッションリーダー研修会.....	4	●米山奨学生のご紹介/米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付.....	15
●滝川ロータリークラブ 創立60周年記念報告.....	5	●ハイライトよねやま.....	16
●白老ロータリークラブ創立40周年式典・第2510地区第12グループIMを終えて.....	6	●ロータリーコーディネーターNEWS.....	17
●2018-2019年度 国際ロータリー第2510地区第2グループ 都市連合会(Intercity Meeting)を終えて.....	7	●最もよく奉仕する者、カーネル!.....	18
●2018-2019年度 国際ロータリー第2510地区第3グループ インターシティーミーティング報告.....	8	●地区カレンダー(12月・1月).....	19
		●出席率・会員数.....	20



今後のロータリーに期待すること その1 — 若い世代にロータリー参加の機会を —

国際ロータリー第2510地区

2018—2019年度ガバナー 小山 司
(札幌RC)

12月を迎えました。早いもので上期も残り1か月となりました。7月9日の長沼RCを皮切りに始まった公式訪問も68クラブを数え、12月5日の札幌RCの訪問を残すのみとなりました。その間、北海道胆振東部地震の影響等で5クラブの公式訪問が延期となった以外は何事もなく、無事に公式訪問を終了することが出来そうです。各訪問に際しては、ガバナー補佐のご同行を頂き、クラブ会員の皆様から心のこもった歓迎をいただいたことに深く感謝申し上げます。

会長・幹事懇談会、クラブ協議会では事前にご用意いただいた資料を基に、クラブ運営の現状と課題について直接お話を聞く機会を得て、改めて皆様のロータリーへの情熱、また直面している課題へのご苦勞などを共感することができました。地域背景やクラブ会員数が異なり、各クラブが抱えている課題も様々ですが、それぞれに工夫を加えながら「ロータリーの心」の実践に励んでおられる姿勢に心より敬意を表したいと思います。

公式訪問で得られた感動の数々には、今後の地区運営に大いに参考させていただく点が多かったと思います。ロータリーの活性化に資すると期待されるそれらの点について、本誌上で、数回に分けてまとめさせていただき、各クラブの検討課題として参考となる事例を呈示させていただきます。

今月号では、若い世代にロータリー参加の機会を与える方策、ひいてはロータリー会員増強・拡大策として期待されるローターアクトクラブとロータリー衛星クラブを取り上げることとします。若い世代のロータリー活動への参加は、ロータリアンとの世代間交流による相互理解を深める機会ともなり、ロータリー活動のより豊かな活性化につながるとともに、将来の有力なロータリアン候補として、ロータリーの世代交代としても期待できることから、いずれもRIが以前より重視してきたプログラムであります。

ローターアクトクラブは18歳から30歳までの青少年を対象として1868年に発足し、現在では184の地域で10,904クラブ、25万人の会員を擁しています。青少年の奉仕活動を通して得られる親睦と友情、ローターアクトならではの地域に密着した継続的、日常的な奉仕活動など、その活動は高く評価され、「ロータリアンに一番近いロータリーファミリーはローターアクター！」と言われるまでになっています。バリー・ラシンRI会長も今年度のサンディエゴでの国際協議会の会長講演で、ローターアクトの会員数を倍増したいとの抱負を述べています。2016年の規定審議会でローターアクターとロータリアンの二重会員の制定案が可決され、会員増強策の一つとして新たな注目が集まっていると言えます。しかし、

本地区は現在、ローターアクトクラブの減少と会員数の不足という深刻な問題に直面しています。本年度の地区目標に沿って、ローターアクトクラブを有する5地区(赤平、札幌、千歳、室蘭、函館)を中心にローターアクトの拡大・増強について打開策の検討が始まっています。その成果を期待したいと思います。

ロータリー衛星クラブは、2013年の規定審議会でロータリー拡大の一方策として、独立したロータリークラブとなるまでの短期間の移行的形態として新設されました。ただし、衛星クラブの存続期間に制限が設けられていません。設立時に少なくとも8名の会員を有している必要がありますが、会員数の上限はありません。これにより、正規のロータリークラブ設立に必要な最低20名の創立会員がいなくても、衛生クラブを通じてスポンサークラブのロータリアンとなる機会が与えられます。月2回の例会の開催が認められており、会費を低額に抑えることができるので、経済的な負担が少なく、早朝、夜の時間帯に例会を持てば、忙しい世代の方も参加できることから、若い世代を対象とした増強の有効な手段として活用が期待されます。

本地区では、2014年、札幌南ロータリークラブがスポンサーとなって、札幌南ライラックロータリー衛星クラブが設立されました。4年間の活動を経て、この度、13名の移籍会員と8名の新会員、合計21名で新クラブ、札幌ライラックロータリークラブ設立の申請書が提出されました。RIからの認証を経て、2019年2月1日にはチャーター・ナイト(認証状伝達式)が挙行されることになっています。新クラブの設立は本地区にとって15年ぶりの壮挙と言える出来事となります。特別代表の羽部大仁パストガバナーはじめ札幌南ロータリークラブの会員の皆様のご功績であり、深甚の敬意と謝意を表したいと思います。

本地区におけるこのビッグニュースはロータリーの拡大・増強策の再発見として注目する価値があると思います。最近、これに加えて、岩見沢ロータリークラブのスポンサーによる、岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの設立申請のニュースが手元に届きました。これは、岩見沢ロータリークラブが10名を超える大幅な増強を達成することを意味します。

上述したように、若い世代の方々にロータリー参加の機会を与えることの意義を強調させていただき、ロータリー拡大・増強を達成した事例を示させていただきました。ローターアクトクラブとロータリー衛星クラブの設立について、各クラブでその実現可能性についてご検討いただければ幸いです。



疾病予防と治療月間にちなんで

小林 博
(札幌北RC)

タバコ

いまさらいうまでもないことですが、みなさんが考えられる以上に悪いもので、「タバコは百害あって一利なし」です。

タバコは肺がんをはじめいろいろながんの原因になるだけでなく、動脈硬化を進行させ脳卒中や心筋梗塞など致命的な病気の引き金にもなるのです。タバコの煙が見えなくても、がんの原因物質は空気中に残ります。とくに妊婦や小さな子どもがいる家庭内での喫煙は絶対にやめて下さい。

食事

食べものは嗜好の問題ですから良し悪しを決めるのは大変難しいのですが、偏食は避けるように。要はバランスのとれた食事を心掛けることです。

野菜(海の野菜の海藻も含めて)・果物も忘れないように。野菜は茹でると沢山食べられます。スープにしてもいいでしょう。以上のことを守るだけでもビタミンCやEのような、身体によい「抗酸化作用」のある食事をかなり摂ったことになります。塩分を控え目にするのもお忘れなく。

口腔内衛生

肺炎が日本人の死亡原因の3位になりました。眠っているうちに口のなかの細菌などが少量の唾液とともに口から気管に入って起きることもありますので、口腔内衛生は常に守って下さい。

運動

こまめに身体運動を続けることで、全身末端組織への血流が促進され、いろいろな病気を予防することが出来ます。軽く汗を流したあとの爽快感はなんともいえませんね。心筋梗塞だけでなく、がん(大腸がんその他のがん)をはじめ、ロコモ症候群(骨、関節、筋肉などの運動器障害)の予防、さらに鬱や認知症の予防など、意外に多面的な効果が期待できます。超多忙な安倍首相も毎週一回はフィットネスクラブでかなりハードな運動をしているようです。ただ「過ぎたるは及ばざるがごとし」。無理をせずに自分に合った運動を倦むことなく続けることです。

社会環境

現代に入って社会環境は随分良くなりました。空気がきれいになり、食べ物も安く美味しく食べられる時代になってきました。医学・医療・福祉・介護など、すべての面で進歩、向上がありました。ですからわが国の平均寿命はこれからもどんどん延びていくことでしょう。「人生100年」時代です。といっても寝たきりなど、不健康な100年では意味がありませんね。ロータリー活動も「健康長寿」があってはじめて楽しむことが出来ます。

検診

いくら疾病の予防を心掛けても年齢とともに思わぬ病気が出てくることがあります。死因第一位のがんについていえば、がん検診を定期的に受けることです。早期発見すればほとんどのがんは治ります。

検診といってもその精度レベルにかなりの高低があります。通り一遍の健康診断で安心しないで、お金は多少かかっても小さな病変を早く見つけられる画像診断などの精密検診が望ましいですね。

脳卒中や心疾患などの循環器系の疾患の発症は突発的です。その予防のための検診(脳ドックや心機能検査など)も忘れないでおきたいものです。

健康への関心

健康は基本的には「自己責任」といわれます。でも世のなかには経済的その他の理由で不自由な生活を余儀なくされる方がたくさんおられます。これらの方々には自分自身とか家族の健康を考える余裕がないかも知れません。ですからこれらの方々には「自己責任」を要求するのは少し厳し過ぎるようになります。

従って健康のことはみんながお互い助け合いの心で、「地域社会全体の問題」として考えていかねばならないのです。とくにロータリアンが健康増進のリーダーであってほしいと思います。

幸い日本は医療保険も行き届き、非常に幸せな国だと思います。ただ、その幸せな環境を自分だけが享受するのではなく、ご家族、職場の仲間、さらに隣近所など周囲の多くの人達、とくに不自由な生活をされる人達に対して、広く健康への関心をもってもらい、わが国が誇ってよい医療環境の恩恵をみんなで分かち合うよう働きかけていただきたいと思います。



次期ガバナー補佐会議報告 ～福田年度の活動充実を確認～

次期地区代表幹事

村田 研一

(千歳RC)

国際ロータリー第2510地区の次期地区ガバナー補佐会議2019-20年度が11月10日(土)、札幌グランドホテルで開かれました。次期地区研修リーダーと地区研修委員の4人が次期ガバナー補佐の役割や責務、戦略計画、公共イメージ・認知度の向上、クラブのサポート強化などについて講話。出席者が福田武男ガバナーエレクト(千歳)年度の地区ロータリー活動充実に向け共通認識を深め、会議後、懇親会も開かれました。

ガバナー補佐会議には第1～12グループ担当の次期地区ガバナー補佐のほか、次期地区研修委員、次期地区役員など約30人が出席。冒頭、福田ガバナーエレクトが「会議を通して一年間の活動がどのように進むのか全体像を把握してほしい。全員初顔合わせとなり、交流も深めてもらえれば。」と話し、出席者がそれぞれ自己紹介をしました。

会議では、次期地区研修リーダーの安孫子建雄PGが「ガバナー補佐の役割と戦略計画」、次期研修委員の嵯峨義輝PGが「ガバナー補佐の責務と公共イメージ・認知度の向上」、武部實PGが「ガバナー補佐の責務とクラブのサポートと強化」、羽部大仁PGが「ガバナー補佐の責務とロータリー財団」を演題に講話をして頂きました。

安孫子PGは、国際ロータリーや各地区、単位クラブの仕組みを知ることで「より良い活動につながる。」と指摘。地区リーダーシップ・プラン(DLP)、クラブリーダーシップ・プラン(CLP)を改めて認識し、実行していく必要性を強調しました。

クラブ研修委員会と地区研修プログラムの連携で、研修内容もより充実すると語り、情報入手に「マイロータリー」の活用を呼び掛けました。

嵯峨PGは、ガバナー補佐の業務を「各クラブが抱える問題をガバナーに正確に伝えること。そしてガバナーの方針がクラブでどう展開されているか報告すること。」と説明。福田ガバナー移行までの助走期間の取り組みが重

要と強調しました。

クラブが抱える会員減少や高齢化の課題解消に、ガバナー補佐同士の綿密な情報交換や前例にとられない柔軟なクラブ運営が必要との認識を示しました。

武部PGは、「地区の現況を理解することが重要。地区内69クラブのうち、会員20人に満たないクラブが18ある。」と実態を紹介。さまざまな課題解消策として「身近なところにヒントがある。」と述べ、特筆すべきクラブ運営と奉仕活動を学び、紹介していくことが各クラブの活性化につながっていくとの考えを強調しました。「地域と共に」とする自身のロータリー感も紹介して頂きました。

羽部PGは「ロータリー財団は世界をより良くしたいと願うロータリアンや支援者の寄付で支えられている。」とした上、財団からの補助金がロータリアンの活動の土台になっていることを説明。地区補助金とグローバル補助金の違いを紹介しました。「寄付をするなら財団に」とも訴え、具体的な支援策を例示しながら最低10ドルから寄付が可能であることを説明して頂きました。

最後に福田ガバナーエレクトが、次期ガバナー補佐に対する地区運営に関する依頼事項と福田年度の重点的な取り組みの概略を説明しました。その中では、地区の次期体制の構築が急務とし、各クラブの推薦取りまとめを要請。2020年秋の地区大会に上程する規則制定に関する案の早期取りまとめの必要性も挙げました。

また、福田年度ではガバナー月信の充実や、21年3月の全国ローターアクト研修会(札幌市)開催を視野に地区内のローターアクトクラブの強化、外国人留学生を受け入れる米山記念奨学・学友会の対象者選考の検討、地区研修セミナーの充実などを挙げ、ガバナー補佐との連携をより深める一つの方法としてメールを積極的に活用していく考えを示しました。

この度の次期地区ガバナー補佐会議が大変有意義な会議となりましたことをご報告申し上げます。





ディスカッションリーダー研修会

地区ロータリー情報委員会

RLI担当副委員長 **渡 邊 葉 子**
(札幌西北RC)

国際ロータリー第2510地区は、ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)加盟手続きを終えております。本格的に会員の皆様へのセミナー開催に向けディスカッションリーダーの皆様が、鋭意努力をされているところでございます。ディスカッションリーダーの役割は、大変重くセミナーの成否を決定するといっても過言ではありません。

RLIについて、少しご説明させていただきます。

RLIの理念は、2010年度「質の高いリーダーシップ研修を通じてクラブの活性化を願った、草の根の多地区合同プログラムである。」とされました。ロータリー米山記念奨学会と同様、RIが承認した多地区合同プログラムです。2017年度の終了時点で、世界543地区中406地区が参加しております。

RLIの目的は、ロータリアンの自主性と卓越した指導性を滋養し、クラブの刷新性と柔軟性を育て、ロータリーを活性化することです。とされております。

研修の基本コースは、パートⅠ・パートⅡ・パートⅢの3日間と卒後セミナー(任意)となっております。参加者は10名位の少人数グループに分けられ、6分科会(セッション)全てをまわって研修する形式で行われます。研修の受講者には、RLIより終了証書が贈られます。

ディスカッションリーダーの役割は、

- ・あくまでも会話の推進者
- ・参加者の発表を注意深く聞く
- ・参加者の意見を反復したり、言い換えて確認をする
- ・参加者の発言を促し幅広く発言を求める
- ・テーマや話題に集中する
- ・参加者の発言を大事にし、結論には柔軟性とされております。



去る9月23日(日)RLI日本支部中村靖治ファシリテーター委員長にお越しいただき、第1回ディスカッションリーダー研修を開催致しました。地区役員の皆様にご協力をお願いし受講者として参加頂きました。お一人のDL(ディスカッションリーダー)が2セッションずつ担当し実際にパートⅠを行いました。1セッション終了毎に、中村委員長初めパストガバナーの皆様からご意見を頂いて研修を進めました。「DLが喋りすぎ」ですとか「話がそれた場合の対処」等々厳しく指導を頂きました。地区大会の折にも、平行プログラムとして研修を行わせていただきました。

何とか今年度中に、開催できるよう急ピッチで準備を進めているところでございます。



滝川ロータリークラブ 創立60周年記念報告

滝川ロータリークラブ

幹事 **畠山 かつる**

2018年9月15日、滝川ホテルスエヒロにて、創立60周年記念式典及び祝賀会が開催されました。当日は、小山司ガバナー、森本正夫パストガバナーをはじめとする23名の地区役員の皆様及び前田康吉滝川市長、藤井謙和滝川商工会議所会頭をはじめとする16名の地域関係諸団体のご来賓の皆様にご臨席を賜り、また、スポンサークラブの旭川ロータリークラブ、第2510地区の多くのロータリアンの皆様にご出席をいただきました。

約250名の参加者のもと、16時30分より記念式典を開催いたしました。

オープニングでは、この10年間の活動を中心に、創立からのあゆみを映像で紹介いたしました。

滝川ロータリークラブは、1958年滝川が市政施行したのと同じ年に、日本で271番目のロータリークラブとして、27名の会員の強い思いと行動力により創設されました。以来滝川市と共に歩み続け、在籍した会員数は500名を上回り、今日までロータリーの奉仕の精神と共に受け継がれてまいりました。現在は96名の会員で、公益財団法人そらぶちキッズキャンプに対する継続的支援活動、JR滝川駅ホームのRotary待合室設置、

FMラジオ局での30分番組による広報活動、米山奨学生の世話クラブなど、精力的に幅広い奉仕活動・広報活動に励んでおります。

放映後は、ご来賓の皆様からご祝辞を頂戴し、スポンサークラブ・10年間の歴代三役への感謝状の贈呈及びクラブ特別表彰の後、記念事業として滝川市への自動車の寄贈及び市内福祉施設への通信カラオケの寄贈をさせていただいたことをご披露いたしました。

式典終了後は、アンサンブルグループ奏楽(そら)による管弦楽演奏のなか、終始和やかな雰囲気祝賀会を執り行うことができました。

なお、式典に先立ち、2018年8月25日、滝川丸加高原ゴルフ場において、記念ゴルフ大会が開催され、第2グループ18名のロータリアンにご参加いただきました。式典、祝賀会、ゴルフ大会がこのように盛会裏に終了いたしましたのは、ご参加いただきました皆様のおかげでございます。会員一同心より御礼申し上げます。

これからも、滝川ロータリークラブは、次の節目に向けてさらに地域に根ざした奉仕活動に邁進いたす所存でございます。今後ともご支援、ご協力を何卒よろしくお願い致します。



白老ロータリークラブ創立40周年式典・ 第2510地区第12グループIMを終えて

白老ロータリークラブ
会長 山田和子

白老ロータリークラブは、1979(昭和54年)年6月17日に登別ロータリークラブをスポンサーとして創立してから40周年の節目を迎えることができました。

10月13日(土)、北海道議会議員神戸典臣様、白老町長戸田安彦様、第2510地区小山司ガバナーを始めとする多数のご来賓の皆様にご臨席を賜り、また、スポンサークラブの登別ロータリークラブ、姉妹クラブの仙台西ロータリークラブ、並びに第12グループの多数のロータリアンをお迎えし記念式典ならびに祝賀会を開催いたしました。

40年の主な活動といたしまして、青少年交換留学生の受け入れや派遣、少年サッカー大会の開催や町立図書館へロータリー文庫の寄贈、桜の植樹事業、タイ国ノンカイ地区への水奉仕事業など多くの奉仕活動を行い、また、ロータリーを広く町民の方々に知っていただくために著名人による講演の公開例会を開催し、4度のRI会長賞をいただいております。

これらの多くの事業はいずれも先輩会員の並々ならぬご努力の賜物であり、今日の白老ロータリークラブの発展につながっております。心から敬意を表します。

当日は「美しい心をロータリーとともに」をテーマとしたインターシティミーティングも前半に開催いたしました。孔子南方第76代子孫の孔佩群様に「論語を学んで徳を高めましょう」の記念講演と、チェンバリストの明楽みゆき様に美しいチェンバロの演奏をしていただきました。IMと式典・祝賀会が同時開催であった多忙な準備期間の苦勞を忘れるほどのすがすがしい思いで40周年記

念式典に臨めたことは、孔様と明楽様、そしてIM準備委員会のメンバーのおかげと心から感謝の意を表します。

式典終了後、祝賀会は「日高雅楽会」の雅な演奏で始まり、当クラブメンバーによる食材王国白老の美味しい料理でおもてなしをし、余興ではよさこいソーランチーム「平岸天神」のパワフルな演舞、苫小牧市で活躍されている「ザ・クレスターズ」によるブラスバンド演奏を楽しんでいただきました。このように多彩な企画を練ってくれた式典準備委員会のメンバーにも、この場をお借りして心から感謝を申し上げます。

40周年記念事業といたしまして、2020年4月、ポロ湖畔に開設されます「国立アイヌ民族博物館」の玄関口である白老駅周辺に石碑を目錄にて贈呈させていただきました。未来永劫変わらずそこにある石碑とともに、白老ロータリークラブも次の世代へとつないでいく所存でございます。今、社会はAI(人工知能)やロボットによる労働の変化、キャッシュレスによる経済の変化など、これまでに経験したことのない変化の時を迎えております。人と人がつながることの大切さを意識していかなければならないと強く感じております。

「ロータリークラブの友情の輪の中で、自らを磨き、地域社会へ奉仕する」このことを次の世代につないでいくことが大切であり、私たちの人生にも深い意義があると確信しております。次の50周年に向けてこの思いをつないでいくことと、ますますロータリーライフを充実させることを決意いたしまして報告とさせていただきます。



2018-2019年度 国際ロータリー第2510地区第2グループ 都市連合会 (Intercity Meeting) を終えて

2018-2019年度 国際ロータリー第2510地区
第2グループガバナー補佐 **石黒安雅**

2018年9月15日(土) 滝川ロータリークラブ創立60周年記念式典の記念すべき日の午後3時より同会場(ホテルスエヒロ)にて、吾々の第2グループ都市連合会(IM)が、小山司ガバナー始め、ご来賓各位並びに第2グループ内多数のメンバーが、登録及びご出席を賜り開催出来ましたこと誠に有難うございました。更には、皆様の温かいご支援ご協力があつて成功裏に終了出来ましたこと、併せて感謝申し上げます。

私は、IMテーマを「ロータリーの精神 こころ 親睦から奉仕へ」とさせて頂きました。それは、正にロータリーの原点を再確認する為であります。そして私達は、この度のIMをかけがえのない交流と親睦の場とさせて頂きました。

小山司ガバナーより地域社会と密着した奉仕活動を実践し、奉仕の心を多くの人々に伝えるよう講評が有り、参加者全員が地元での活動に生かして行く強い決意を感じる事が出来ました。これからの第2グループの各クラブの躍進にご期待下さい。

IM記念講演では、滝川スカイスports振興協

会理事の日口裕二氏により「大空へ翔ける夢」と題しての感動的な講演を頂きました。その中で青少年健全育成について、大空に舞うグライダーを通して、熱い思いで記念講演をされました。私達ロータリアンにとって、更には各クラブの青少年奉仕活動に対して、大きな指針と成るものと確信致しております。

結びに成りますが、RI2510地区第2グループガバナー補佐として都市連合会(IM)を、滝川RCで主管出来ましたことを心より感謝申し上げ、IMの報告と致します。



2018-2019年度 国際ロータリー第2510地区第3グループ インターシティーミーティング報告

2018-2019年度 国際ロータリー第2510地区

第3グループガバナー補佐 **福井 昭 和**

9月29日(土)に第3グループのインターシティーミーティングを当別町の西当別コミュニティーセンターにて開催いたしました。(256名登録、ホストクラブは当別ロータリークラブ)

今回IMのテーマを「高齢社会に於ける各クラブの課題と問題点」といたしました。これは少子高齢社会が進み2025年には高齢社会のピークを迎えることが予想されております。そこで、各クラブに於いて奉仕活動はじめロータリー活動や会員増強に於いてどのような問題点があり、取り組みの方法があるのかを検討する機会としたいと考えました。

今回、このテーマに即した記念講演として地元北海道医療大学の学長であります浅香正博先生に「我が国から肺ガンと胃ガンで亡くなる人を無くすために」というテーマで講演をいただきました。浅香先生はピロリ菌の権威であると同時にタバコが発がん物質に認定されながら50年以上経過しているにもかかわらず、規制が十分になされないために肺ガンが蔓延していることを指摘し、学生にがん予防の講義をされてきた方です。医療大学では全学生の禁煙を推奨しています。高齢化に伴い私たちの尊い命を奪うガンの死亡率も年々高まり、2人に1人はガンに罹り、3人に1人はガンで亡くなるという現状です。一見すると専門家の話は難解なものですが、浅香先生のお話しはテンポ良く歯に衣着せぬ軽妙な話しぶりで話されるので、会員皆様の心に響く講演となりました。

各クラブ会長からは高齢社会に於けるロータリー活動の取り組みについて多彩な活動報告と貴重なご意見をいただき、テーマの掘り下げと情報共有ができました。お忙しいスケジュールを調整して小山ガバナーにもご出席いただき、ご挨拶をいただきました。また、後半退出された小山ガバナーに代わり福田武男ガバナーエレクトより講評もいただきました。クラブ発表のアドバイザーであります嵯峨義輝パストガバナーからは「高齢化だからといって若手の入会を勧めることばかりが良いのではなく、高齢者には高齢者の、中堅には中堅の、若手には若手のロータリー活動や楽しみがあるというのがいいと思う」というお話がありました。

今回、会場を当別町西地区のコミュニティーセンターにしましたのは昨年オープンしました「北欧の風道の駅とうべつ」へお立ち寄りいただきつつ、懇親会場である田西会館へ移動をしていただきたいという意図もございました。皆様には大変なご不便をおかけしましたが、当別町の新しいスポットを近隣クラブの皆様にご覧いただき北欧の風をひととき感じていただけたのではと思います。

8クラブが一堂に会し研鑽を積み、互いの情報交換の場とし、親睦と友情を深める機会となったことと思います。この誌面をお借りしてご参会いただきました皆様に御礼申し上げます。



「美しい心をロータリーとともに」 ～第12グループインターシティミーティングを終えて～

2018-2019年度 国際ロータリー第2510地区

第12グループガバナー補佐 **清水尚昭**

10月13日土曜日、「美しい心をロータリーとともに」をテーマに、例年にない暖かな晴天のもと、第12グループ、苫小牧ロータリークラブ、苫小牧北ロータリークラブ、苫小牧東ロータリークラブの皆様のご全員登録のもと、小山司ガバナー、戸田安彦白老町長のご列席をいただき、2018-2019年度国際ロータリー第2510地区第12グループインターシティミーティングが白老コミュニティセンターを会場に開催されました。

午後1時30分、清水尚昭国際ロータリー第2510地区第12グループガバナー補佐の点鐘で定刻に始まりました。

記念講演では、孔子南方第76代子孫の孔佩群(こう・はいぐん)氏が「論語を学んで徳御高めましょう」と題して、温故知新の精神をはじめとし、孔子がおっしゃった言葉を引用され、人としての心の持ち方、美しさをお話してくださいました。

また、「美しきチェンバロの響き」と題し、札幌在住のチェンバロ奏者、明楽みゆき氏に演奏をしていただきました。参加された皆様には、チェンバロの心和む音色に酔いしれていただけたことと思います。

小山司ガバナーのご挨拶では、ロータリーのつながり、これからのロータリーについて触れられ、ロータリークラブとしてのあるべき姿をお示しいただきました。

続いて、次期ガバナー補佐となられる苫小牧北ロータリークラブ橘勇治氏をご紹介して、2018-2019年度国際ロータリー第2510地区第12グループインターシ

ティミーティングは終了とさせていただきます。

なお、白老ロータリークラブは今年度創立40周年の節目の年を迎えるにあたり、2018-2019年度国際ロータリー第2510地区第12グループインターシティミーティングと同日開催とさせていただきます。

白老ロータリークラブ創立40周年記念式典は、第12グループインターシティミーティング終了後、引き続き会場を白老中央公民館に移し、小山司ガバナー、戸田安彦白老町長はじめ、来賓各位、スポンサークラブ登別ロータリークラブ、姉妹クラブ仙台西ロータリークラブ、第1グループ各クラブの皆様のご参加をいただき開催され、山田和子会長の点鐘で開会されました。

小山ガバナーよりご挨拶を頂戴し、記念事業の報告並びに伝達をさせていただきました。

その後の祝賀会では、雅楽演奏でのオープニング、谷島純平実行委員長のご挨拶、姉妹クラブ仙台西ロータリークラブ古積昇会長よりのご祝辞、余興ではザクレスターズの演奏に続き、よさこいソーラン平岸天神の力強い演舞、スポンサークラブの登別ロータリークラブ石井憲一会長の万歳三唱、定番の「手に手つないで」の大合唱でお開きとなりました。

小山司ガバナーはじめ、ご参加くださいました多くの美馬様のおかげで、成功裏に終了できましたことを心より御礼申し上げ、ご報告といたします。



ガバナー公式訪問報告

紙面の都合ならびに原稿の到着日により掲載が前後する場合がございますので、ご了承ください。

赤平ロータリークラブ

10/9日

赤平ロータリークラブは、地区大会を直前に控えた10月9日(火)に、小山ガバナーの公式訪問を受けました。三連休明けの忙しい週のはじめ、小山ガバナー、石黒ガバナー補佐が当クラブを訪れてくださいました。10時から会長・幹事懇談会、11時からクラブ協議会、12時30分からはガバナー公式訪問例会とスケジュールは順調に進み、どの会も有意義な意見交換の場や会議となりました。

小山ガバナーは赤平クラブの全体像と地域の事情を重ね合わせ、いくつかのアドバイスをしてくださいました。赤平クラブの年齢構成からみた世代交流の重要性。クラブの活動は予算に規定され、予算は会員数で決められること。それが活動の活性化に直結するため、会員増強はクラブ活性化にとって不可欠であること。また、クラブを継続可能ならしめるのは変革であることなど、ガバナーは多岐にわたって今後のクラブ活動に示唆を与えて下さいました。

ガバナーの卓話は、米国におけるロータリー成立の精神と北海道開拓の精神が交錯した時代的背景を見事に解明した内容で、出席した多くの会員に強い感銘を与えました。

小山ガバナー持参の日本ロータリー100年を記念してつくられたゴングを点鐘し、例会は閉会しました。最後に、赤平ロータリークラブ会員と小山ガバナー、石黒ガバナー補佐で集合写真を撮影し、すべてが終了となりました。



静内ロータリークラブ

10/17日

ガバナー公式訪問を行うにあたり、当クラブ第45代会長 福田会員のご逝去に伴い、静内クラブの中心的存在であった為、クラブ会員の心情に配慮し、ガバナー公式訪問の全日程を延期する予定でしたが、小山ガバナーの日程についても熟慮した結果、ガバナー公式訪問「例会」のみを延期とし、理事・委員長だけで「会長・幹事懇談会」、「クラブ協議会」を当初予定通りの7月25日に行い、ガバナー公式訪問「例会」を改めて10月17日の通常例会に行う事とさせて頂きました。

又、今まで経験をした事のない事象でしたので、小山ガバナー・小関ガバナー補佐には大変ご迷惑をお掛けする事になりましたが、小山ガバナーには気持ち良く受け入れて頂きました事に感謝を申し上げます。

会長・幹事懇談会においては、静内クラブの特徴・今年度の活動目標と方針、現状と今後の課題について話し、本年度の会員増強の目標達成についても報告をさせて頂きました。

「地域との関わり」に重点を置き、静内クラブの活動の「見える化」を行うと共に、新入会員にもRCの活動が分かり易い様に、毎例会プロジェクターを使用して「会長の時間」を行っている事の事例紹介をさせて頂きました。

クラブ協議会においては、静内クラブ五大奉仕委員会の活動計画発表を委員長より行い、小山ガバナーからの講評と、小関ガバナー補佐からの寸評を頂きました。

その後、日程を変更して行ったガバナー公式訪問「例会」においては、静内クラブの活動の「見える化」と言う観点から、ガバナーにも今年度の活動を理解して貰う為、全ての事業報告について、プロジェクターを使用して、ダイジェストで説明をさせて頂きました。

そして、静内クラブには2回目のガバナー公式訪問と言う事もあって、多分唯一、69クラブの会長の中で、日本RC100周年の鐘を2回鳴らす経験もさせて頂いた記憶に残るガバナー公式訪問となりました。



白老ロータリークラブ

10/23四

10月23日(火)、地区大会終了後のお疲れの中、第58番目のガバナー公式訪問クラブとして白老ロータリークラブへ、小山司ガバナー、清水尚昭第12グループガバナー補佐がおいでくださいました。小春日和の早朝からのご訪問でありました。

10時からの会長・幹事懇談会では、当クラブの特徴、今年度予定事業をお話し、ご指導・ご助言をいただきました。続いてのクラブ協議会では、小山ガバナーから大変参考になるご講評を、また、当クラブのこれまでの事業に対する評価も頂戴いたしました。クラブ例会では、当クラブが長年続けているおいしい例会、特にガバナー公式訪問定番メニューの『白老牛すき焼き』を味わっていただき、例会の中で「なんと贅沢なクラブ」とご称賛いただきました。「おいしい例会」とは、食事もプログラムも美味しいということなのだろうと話され、クラブの取り組みに対して、他のクラブにも紹介したい事業を行っているとお言葉をいただきました。

北海道命名150年、2020年には日本のロータリー誕生100周年ということにちなみ、開道の精神がロータリーにつながっているというお話をしてくださいました。また、ロータリー100年の鐘の音に、歴史をつなぐ思いを感じました。例会終了後は、出席会員との記念撮影をしていただきました。

小山ガバナーがご健康に留意され、つつがなくお過ごしくくださいますようお願いし、公式訪問のお礼とさせていただきます。



函館北ロータリークラブ

10/24水

10月24日(水) 函館地区最後のガバナー公式訪問が小山司ガバナー、田嶋英人ガバナー補佐をお迎えし行われました。

会長・幹事懇談会では、19名による会の運営費を心配してくださり、早急に若い会員を中心に現在65歳の平均年齢を下げる意識を持つことが肝心であるとの、決して押し付けではないアドバイスを判りやすくお聞きすることが出来ました。

クラブ協議会では当クラブ奉仕活動である

- ① 洞爺丸慰霊碑清掃 (54年間継続)
- ② 函館 マラソン 給水ボランティア (12年間継続)
- ③ 函館 東部少年野球「北ロータリークラブ杯」の主催 (5年継続)

を中心に各委員長より活動計画を報告し、例会では纏めとしてガバナーより講話をいただきました。会員一同、小山ガバナーの温かいお人柄に触れ、今後のロータリー活動の一層の励みとなりました。ご訪問心より感謝致します。



千歳ロータリークラブ

10/25日

小山司ガバナーと第7グループの齋藤茂生ガバナー補佐（恵庭RC）は10月25日午前10時から例会場のANAクラウンプラザホテル千歳にて今野良紀会長、藤川俊一会長エレクトと前田浩志幹事の出席による会長・幹事懇談会に臨まれました。今野会長からは、昨年度創立50周年を終え、次年度には福田武男ガバナー輩出クラブとしての今年度の活動として、5つの新事業を構築し、それぞれの事業の概略について説明させていただきました。

その後の各委員長に出席いただいたクラブ協議会では、年度計画や委員会方針を説明。小山ガバナーは80年計画の28年目に入った分収造林「千歳ロータリーの森林（もり）」事業の「ロータリーの友」への寄稿による他地域への情報発信に関するアドバイスや、マイロータリーの登録状況、ロータリー賞受賞に向けての積極的なチャレンジなど貴重なアドバイスをいただきました。

その後の例会の中でも沢山のお褒めの言葉をいただき、卓話では東京RCが2020年に100周年を迎えるにあたって作られた黄金色の鐘のお話から始まり、当クラブのホストクラブでもあります、所属クラブ、札幌RCの歴史についてのお話やRLIに関してのお話など大変有意義なお話を聞かせていただく事が出来ました。どうもありがとうございました。



札幌南ロータリークラブ

10/29日

10月29日、小山司ガバナー、関堂勝幸ガバナー補佐をお迎えして公式訪問が例会場のパークホテルで開催されました。

午前10時からの会長・幹事懇談会では、1956年ガバナーの出身クラブである札幌クラブがスポンサーになり34名で発足した南クラブ、その歴史・クラブの精神理念・委員会の事業内容・今年度の重点目標を説明しました。特にクラブの精神的理念である“なごやぎの精神”をチャーターメンバーの総意として決められそれを代々63年間受け継がれていることにガバナーは感心されていました。

11時からのクラブ協議会は理事・委員長出席の元、各委員会の運営方針・実施内容について発表され、ガバナーより適切な総評をいただきました。

12時30分からの公式訪問例会では、日本ロータリー100周年記念の鐘の紹介があり、当クラブ会長がそのゴングをならすと澄み切った清らかな音が会場に響き渡りました。

ガバナーの講話は、今年は北海道命名150年であると同時に、ポールハリス生誕150年でもあり、ハリスの育ったニューイングランドの話から北海道開拓者たちとの関係（ケブロン、クラーク博士）、北海道帝国大学の初代総長・佐藤昌介氏が札幌クラブの初代会長であったことなどたいへん興味深いお話しでありました。

小山ガバナーのお人柄に触れさせていただき、会員一同心より感謝いたしております。今後ともお体に気を付けられて益々のご活躍を祈念しております。



岩見沢ロータリークラブ

11/1(木)

11月1日(木) ガバナー公式訪問として国際ロータリー第2510地区2018-2019年度ガバナー小山司様にお越し戴きました。また、第三グループガバナー補佐福井昭和様、補佐幹事泉亭俊徳様にも足を運んで戴き、私どもと一緒にガバナーをお迎えいたしました。

午前10時より当クラブの会長、幹事、エレクト・副幹事にSAAを交えての会長・幹事懇談会を行い、次に11時よりクラブ協議会が行われ、当クラブの各委員会より今年度における活動の計画と進捗について報告をいたしました。岩見沢ロータリークラブ会員との記念写真撮影の後、例会を行いその中でガバナーより講話を戴きました。

公式訪問の中では当クラブ臼杵会長から、小山ガバナーが唱える「持続可能な絶え間なき変革のスタート」をもとに、会長方針として「持続可能な変革へ進化するロータリー」を掲げており、特に岩見沢ロータリークラブが会員増強の一つとして今年度実施している衛星クラブの設立について、既に9名の新会員が入会し、新たに2名が入会の意思があることを報告させて戴きました。このことは、ロータリー財団委員会大屋委員長からの活動計画で発表されたクラブ内でのベネファクター倍増計画と合わせ、ガバナーより非常に高く評価して戴きました。

例年ガバナーの職務であります、広い西北海道69カ所のクラブ訪問は大変な激務であり、頭の下がる思いは勿論のこと、お体に気をつけ無事に終了することをお祈り申し上げ、ガバナー公式訪問の報告といたします。



札幌南ロータリークラブ

11/9(金)

去る11月9日(金)に小山司ガバナー、関堂勝幸ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。当初は9月7日に行われる予定でしたが、前日に発生した胆振東部地震の影響で同日に延期されました。

10時からの会長・幹事懇談会には当クラブより会長・幹事・会長エレクトが出席し、小山ガバナーからの様々な質問に汗をかきながら回答させていただきました。特に新クラブに移行する札幌南ライラックロータリー衛星クラブについてが話題となり、小山ガバナーからは「地区における成功例として会員増強セミナーで取り上げたい」とのお言葉をいただきました。

11時からはクラブ協議会が開催されました。理事・役員・各委員長出席のもと五大奉仕委員長、三部門長、衛星クラブ議長から活動計画と実施状況が発表され、その後小山ガバナーの意向で参加者全員が自らの取り組みを発表することとなりました。

12時30分からの例会では、地区大会でも披露されたゴング(日本のロータリー100周年の鐘)を佐々木会長が神妙な面持ちで鳴らし、また小山ガバナーからは2020年に日本のロータリー100周年を迎えること、またその節目を迎えるにあたり将来のロータリー活動のあり方を考えていきたいと思いますと心に響くお話をいただきました。

ご多忙の中、公式訪問誠に有難うございました。



新会員のご紹介

(敬称略)



札幌モーニングRC
天内 和幸
10月3日入会
不動産売買業



小樽RC
織田 亨
11月6日入会
商業地方銀行



室蘭東RC
菅原 猛史
11月7日入会
プラント配管工事

訃報

謹んでお悔やみ
申し上げますとともに
心からご冥福を
お祈り致します



札幌モーニングRC
池上 公介 さん
2018年9月3日 ご逝去(享年77歳)

【ロータリー歴】

1988年6月23日 入会 (チャーターメンバー)
2003年～2004年 第16期会長
マルチプル・ポールハリス・フェロー
米山功労者マルチプル

米山奨学生の紹介 YONEYAMA SCHOLARSHIP



日本留学の経緯

李 雪霏
(中国)

北海道大学・札幌真駒内RC

私は中国から来た留学生で、李雪霏と申します。現在北海道大学の博士後期課程に所属しています。

私は小学校の低学年の頃、テレビで放送されていた日本のアニメーション作品を見るようになりました。私は日本のアニメーションが好きになり、大学ではコンピューター科学と技術学部でデジタルメディアを専攻し、主にコンピューター技術やCGの基礎科目を履修しました。その期間中に意識し始めたのは「技術は芸術の基」という事実でした。そこで、私はCGに関する技術をさらに身に付けようと、日本に留学することを決心しました。

来日後、私は試しにインターネット上でアニメーション配信を視聴してみました。有料のものばかりでしたが、中国の動画サイトを見ると、なぜか同じ作品を無料で視聴することが出来ることに気が付きました。その時、私は発展途上国である中国と先進国である日本とでは著作権に対する考え方がこれほどまでに違うのか、と情けなく思いました。

その経験がきっかけで、私はデジタルメディアの著作権保護に興味を持ち、大学院ではデジタル著作権管理について研究してきました。将来その研究を著作権保護のために役立てることができればと思います。

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

深川RC	蓑口 亮	会員 (1回)	10月31日	千歳セントラルRC	今井 章夫	会員 (1回)	10月18日
深川RC	吉澤 義彦	会員 (1回)	10月31日	室蘭北RC	工藤 一人	会員 (2回)	10月26日
深川RC	北村 幸雄	会員 (2回)	10月31日	米山功労クラブ			
深川RC	林 憲雄	会員 (2回)	10月31日	札幌真駒内RC	(25回)		10月18日
札幌真駒内RC	高野 園子	会員 (2回)	10月18日	室蘭北RC	(9回)		10月26日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

千歳セントラルRC	入口 博美	会員 (1回)	10月19日
千歳セントラルRC	佐々木俊英	会員 (2回)	10月19日
函館五稜郭RC	石坂 仁	会員 (8回)	10月 1日

ポール・ハリス・フェロー

千歳セントラルRC	手島 和枝	会員	10月19日
-----------	-------	----	--------



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

2018.11.13

Vol. 224

2019学年度奨学金申し込み状況

2019学年度のロータリー米山記念奨学金（学部・修士・博士／地区奨励）には、指定校539校（「地区を超えた指定校」の重複含む。前年度534校）から1,384人（1,355人）が推薦されました。被推薦者の国籍・地域は、中国50.9%（53.5%）、ベトナム13.2%（11.7%）、韓国9.3%（9.4%）、そのほか、台湾、ネパール、マレーシア、インドネシアの順となっています。ベトナムは昨年と同様、申し込み段階で韓国を越えて、国籍別の第2位となりました。

被推薦者の奨学金別応募状況は、博士課程21.2%（20.5%）、修士課程37.9%（42.7%）、学部課程38.7%（35.0%）、大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、8地区13校から計32人の応募がありました。

11月中旬に各地区へ応募書類を郵送し、1月末日までに地区選考委員会による書類選考・面接試験が実施され、新規・継続合わせて2019学年度奨学生850人枠（2018年11月現在）が決定します。

大学とロータリーとの交流を — 第2580地区 —



11月8日、第2580地区（東京都）米山奨学委員会が主催する三者懇親会が開催されました。これは、奨学生・カウンセラー・指導教官ら大学関係者が一堂に会し交流を深めるためのもので、今年は総勢100人が参加しました。

まず、奨学生とカウンセラーがそれぞれ別室でグループディスカッションを行い、日常の疑問点や奨学生としてやってみたいことなどを話し合っ

て発表。続いて大学関係者が合流し、第2620地区学友会のラシタ・エリヤーワ・アサンカ会長（スリランカ／2006-07／甲府南RC：現在同クラブ会員）が、奨学生時代のエピソードや夢を実現する意思を持つ大切さ、学友会活動やロータリアンになること等、現役奨学生たちの模範となる話を披露しました。その後は会場を移し、指導教官とカウンセラーが飲食を共にしながら奨学生の日常について話し合ったり、奨学生がひと言スピーチをしたりしました。

同地区の比留間孝司委員長は「奨学生やカウンセラーがそれぞれ顔を合わせて意見交換するだけでなく、大学関係者と交流できる意義は非常に大きい。当地区の伝統としてこれからも続けていきたい」と、話しました。

寄付金速報 — 米山月間のご支援に感謝いたします —

10月までの寄付金は前年同期と比べて4.4%減（普通寄付金：0.3%増、特別寄付金：7.6%減）約2,480万円の減少となりました。前年度が当財団設立50周年ということもあり、前年度比では減少幅が大きくなっていますが、寄付累

計額としてはほぼ例年並みで推移しています。学友、ロータリアンの皆様からのご寄付に心より厚く御礼申し上げます。上期も残り2ヵ月を切りましたが、今後ともご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター 2018年12月号

NEWS

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

■「ロータリアンの顔の見える、ストーリーのある住民参加の広報活動」

第3ゾーン・RPIC部門戦略計画において、第3ゾーン2018-19年度の目標を一番目にロータリー公共イメージと認知度の向上：マスメディア・地方広報機関・SNSで推進、二番目に「My ROTARY」への登録率60%の達成、三番目に「ロータリークラブ・セントラル」への各クラブ活動Dataの定期的入力と開示の推進を掲げた。



2730地区の2016年6月末でのMy ROTARYの登録率は14.54%と低迷していた。そこで、クラブ戦略計画に対する取り組みの状況と公共イメージ向上への対応を分析して、地区としてどのようにクラブ強化のサポートが出来るのかを提言する目的で各クラブ役員に公共イメージ向上のアンケート調査をしました。65クラブ中57クラブから回答があり回答率は87.76%でした。このことから公共イメージに対する関心の高さがうかがえました。しかし、戦略計画委員会を設置しているクラブが28%と低いことがわかりました。



公共イメージ向上のために地域社会が必要としている奉仕活動を「クラブとして、何かしていますか。又は、見直しをしていますか」の問いに対して87.7%のクラブが「はい」でした。

「2017-18年度の活動をマスコミなどで報道されたことがありますか」の問いに対して73.7%のクラブが「はい」と高い回答率でした。

「2018-19年度のロータリー賞へのチャレンジを予定していますか」の問いには、「はい」が35.1%で「いいえ」が57.9%となっていた。

「世界を変える行動人」キャンペーンを知っていますかについてはよく知っている5.3%、聞いたことがある43.9%、知らない47.4%でした。

これらのデータから、My ROTARYのラーニングセンターやロータリークラブ・セントラルをもっと活用し、戦略計画と公共イメージに対する認識と理解を深め、そして、「地元を変える行動人」の推進を強く感じました。

ロータリーの奉仕活動には有形無形のものがあります。

今後の地域での広報の在り方については地域住民も巻き込み、ストーリーを伝えられるロータリアンの顔が見えることが必要だと思います。また、持続可能な積極的参加の出来る内容と仕組み、仕掛けづくりを検討することによって多様性のある広報手段で、公共イメージ向上に繋がれると思います。

第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 山下皓三 (鹿児島西RC)

■「ロータリーの情報伝達経路の不備」

九州4地区担当のロータリーコーディネーター補佐を務めて2年目になります。働きかけの相手が自分の地区だけでなく他の3地区も含まれるので、あまり手を広げても抽象論に終わる可能性があるため、会員増強だけに絞って取り組みました。一般に会員数は期首から増加し、12月、3月、6月に減少し、殊に6月末には多数の退会者があるので、期首からの増加だけを見ても期末の会員数を推定することは困難です。一方、前年同月との比較を見ると、期末の増減が比較的早期に推定できます。そこで、九州4地区の過去5年間の前年同月の比較の統計に加えて当該年度のデータを毎月末にガバナーに送付して、地区の会員増強の参考にしてもらう試みをしました。その効果があっただろうか、九州4地区で合計82名の純増になりました。今年度はガバナーに加えて地区幹事と地区会員増強委員長にも送付しています。

ところで、私が地区ガバナーに伝えた情報が各クラブの会長やクラブ会員増強委員長を経てさらにクラブ会員にまで伝達されているかどうか気がなります。同様に、RI会長の活動方針がロータリーの真の実力者であるクラブ会員まで浸透しているかどうかです。当地区では、ロータリーの本質は例会出席、親睦、職業奉仕、陰徳であるという説が広く信じられており、数年前のロータリー研究会で、「例会なくして親睦なし 親睦なくして奉仕なし」とのスローガンが他地区から声高に述べられました(中核的価値観の親睦をご一読願います)。そのような雰囲気数十年どっぷりとつかっていた会員がクラブ会長になり、やがてガバナーになった場合、「国際ロータリーは世界有数の国際人道支援団体である」という見識を持ったRI会長の意向が、GETSや国際協議会などの短期集中研修を行ってはいませんが、誤解なく受け入れられているだろうか。これに関して、今年度の私の地区のガバナーメッセージ「寛容と思いやり そして和の心」が月信の表紙に大きく印刷されており、その下に小さな活字で国際ロータリーのテーマ「インスピレーションになるう」が書いてあります。これは手続要覧の趣旨とは異なるだけでなく、ガバナーの役割が問われるように思います。

このような状況で、ARCの私のお勤めがどの程度地区ガバナーに受け入れられるかやや不安もありますが、会員増強はクラブの存続にもかかわることが比較的分かり易いのですが、財団への寄附や公共イメージと認知度の向上などの活動についてガバナーのリーダーシップがどの程度発揮されるか心もとない点があるように思います。

第3ゾーンロータリーコーディネーター補佐 穴井元昭 (博多RC)

ロータリー探訪



最もよく奉仕する者、 カーネル!

第2510地区職業奉仕委員長

玉井 清治

(函館亀田RC)

「ケンタッキー・フライドチキン」のコマーシャルが多く聞こえてくると、クリスマスが近いことを感じます。なぜ、この寒い時期に店頭の前のおじさんは白いモーニング姿で微笑んでいるのでしょうか?彼が先駆けたフランチャイズ事業が評判になってテレビに出演依頼がきたときのこと、冬だということに白いモーニングを着て出演したのが大うけして、これがその後、カーネル人形として、ケンタッキー・フライド・チキンのトレード・マークとなったとのことでした。

彼の名前はハーランド・デビッド・サンダース。そう、あのケンタッキー・フライドチキンを創り、世界で初めてフランチャイズ・ビジネスを生み出した男、カーネル・サンダースの本名です。

1890年9月9日にインディアナ州南部のヘンリービルで生まれ、6歳の時に父親が亡くなり、母親が工場に働きにでたため、3歳の弟と生まれたばかりの妹の面倒をみなければならなくなり、母親の代わりに三度の食事の支度をして、一人で見事なパンを焼き上げたことが、彼の少年時代の有名な逸話として残っています。その後、農場の手伝い、ペンキ塗り、路面電車の車掌、軍隊に入隊、鍛冶屋見習い、機関士、弁護士実習生、ブルデンシャル保険のセールスマン、フェリー運航会社設立、商工会議所秘書、アセチレン・ライト製造販売会社設立、ミシュラン・タイヤのセールスマン、ガソリンスタンド経営…。などなど、失敗や倒産を繰り返し、料理の天才だった彼が飲食を手掛けるのは、なんとガソリンスタンドにレストランを併設した29歳でのことでした。「自動車には良質なガソリンが必要なのと同じように、ドライバーにも良質な食事が必要である」と考えたサンダースは、ガソリン・スタンドに併設して6席の「サンダース・カフェ」を開店し、手製のフライド・チキンを出しますが、これがなんと美味しいと大評判になって、長蛇の列ができるほど繁盛しました。そこでサンダースは、レストラン事業に専念するために、ガソリン・スタンドを売却して、道の反対側に142席の本格的なレストランを建設し、「ケンタッキー・フライド・チキン」の商標で、大々的なレストラン経営にのりだします。ロータリーへの入会もこの頃で、ジェファーソンビル・ロータリークラブのチャーターメンバーとして入会しました。「私は彼らのスローガンに心打たれた。最も奉仕する者が最大の利益を得る。我が身の前に他人に奉仕せよ」。以来私は、ものごとを行う際、これら2つのモットーに従うように努めてきた……。と、晩年彼は語っています。

ケンタッキー州知事から、おいしいフライド・チキンを提

供した功績をたたえてカーネルColonel(陸軍大佐)の名誉称号を受けました。これが、カーネルというニックネームがついた由来です。

カーネルがビジネスの基本にしたのは、次の四つのルールだったと自叙伝に記載されています。

1. そのビジネスに嘘偽りはないか
2. そのビジネスは関係するすべての人に公正か
3. そのビジネスは良好な人間関係を作っていくものか
4. そのビジネスは関係するすべての人にとって有益なものか

すなわちカーネルは、ロータリーの四つのテストに照らしながら事業を営んでいたことが伺えます。カーネルがロータリーに入会したのは、この四つのテストに魅せられたからだという記述がありますが、彼がロータリーに入会した1920年には、まだ四つのテストはできていません(ハーバート・テラーが四つのテストを発表したのは1932年)ので、この記述は明らかな間違いのようです。

1930年にコービン・ロータリークラブに移籍、1960年に本拠地を交通の便のよいレイビスに移転し、同時にシェルビービル・ロータリークラブに移籍しました。1964年、74歳の時に、200万ドル(約7億円)でジョン・ブラウンに権利を売ってリタイアしましたが、その後ナビスコを経てペプシコーラに売却されたときの価格は8億4000万ドル(1430億円)とされています。

四つのテストを実行して、二度のビジネスを成功させた偉大なロータリアン、カーネル・サンダースは1980年、90歳で白血病のためこの世を去りました。

病床で彼は「私たちは我々の考えに共感する人たちだけと仕事をしてきた。そもそも理念に共感しない人を選んでもトレーニングする意味がないからね」「私には指針にしていた教訓がある。人は「できる」とか「したい」と思う分だけ表現できるもんじゃ」と名言を残しております。

ケンタッキー・フライドチキンをより成長させるには、マネジメントのプロに道を譲るのが、このビジネスに関与するすべての人の幸福を増大する。これがカーネルの出した結論だったようです。ロータリーのバッジを光らせ、永遠に店頭で彼は私たちを笑顔で迎えてくれることでしょう! He profits most who serves best.

出典:RI2680地区 田中毅PDG著:カーネルサンダース

カーネル・サンダース自叙伝

中野明 著「カーネルサンダースの教え」朝日新聞出版

地区カレンダー（12月・1月）

12月 疾病予防と治療月間	
1 (土)	
2 (日)	
3 (月)	ガバナー指名委員会(札幌)
4 (火)	
5 (水)	公式訪問(札幌RC)
6 (木)	
7 (金)	
8 (土)	
9 (日)	
10(月)	
11(火)	
12(水)	
13(木)	
14(金)	
15(土)	
16(日)	
17(月)	
18(火)	
19(水)	
20(木)	
21(金)	
22(土)	
23(日)	天皇誕生日
24(月)	振替休日
25(火)	
26(水)	
27(木)	
28(金)	
29(土)	
30(日)	
31(月)	

1月 職業奉仕月間	
1 (火)	元旦
2 (水)	
3 (木)	
4 (金)	
5 (土)	
6 (日)	
7 (月)	
8 (火)	
9 (水)	
10(木)	
11(金)	
12(土)	
13(日)	
14(月)	～19日(土)国際協議会(米国・サンディエゴ)
15(火)	
16(水)	
17(木)	
18(金)	
19(土)	第3回ガバナー補佐会議
20(日)	
21(月)	
22(火)	
23(水)	
24(木)	
25(金)	
26(土)	
27(日)	～31日(木)国際奉仕・VTT検証ツアー
28(月)	
29(火)	
30(水)	
31(木)	

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2018.7.1	2018.10.31	増減	内女性	
1	深 川	3	33	33	0	2	80.78
	羽 幌	3	46	46	0	2	74.64
	妹背牛	4	7	7	0	0	85.71
	留 萌	5	33	33	0	3	78.18
	小 計		119	119	0	7	79.83
2	赤 平	4	27	27	0	2	80.00
	芦 別	3	31	31	0	2	73.62
	砂 川	5	40	40	0	1	97.35
	滝 川	4	93	96	3	4	70.00
	小 計		191	194	3	9	80.24
3	美 唄	3	26	27	1	0	87.15
	江 別	4	32	33	1	1	81.06
	江別西	5	30	30	0	4	87.30
	岩見沢	4	74	78	4	0	98.35
	岩見沢東	2	17	17	0	2	87.87
	栗 沢	3	19	19	0	1	81.50
	栗 山	3	25	28	3	5	100.00
	当 別	4	27	29	2	0	91.26
	小 計		250	261	11	13	89.31
4	札 幌	3	121	134	13	2	98.45
	札幌はまなす	3	16	18	2	2	85.00
	札 幌 北	3	40	43	3	4	84.84
	札幌モーニング	3	34	34	0	0	77.59
	札 幌 西	3	50	51	1	9	82.22
	札幌西北	4	34	34	0	3	76.80
	札幌手稲	4	37	38	1	4	89.97
	小 計		332	352	20	24	84.98
5	札 幌 東	4	125	125	0	0	97.38
	札幌清田	4	13	13	0	4	100.00
	札幌幌南	4	66	67	1	9	99.72
	札幌真駒内	4	23	25	2	7	100.00
	札 幌 南	4	88	92	4	2	98.01
	札幌大通公園	2	14	14	0	4	53.57
	新 札 幌	4	25	27	2	5	87.09
	小 計		354	363	9	31	90.82
6	岩 内	2	20	20	0	1	100.00
	倶知安	3	36	37	1	4	67.80
	小 樽	4	71	74	3	5	86.05
	小樽南	3	65	61	-4	4	75.00
	小樽銭函	4	22	24	2	1	81.00
	蘭 越	4	9	9	0	0	100.00
	余 市	4	43	43	0	6	87.60
	小 計		266	268	2	21	85.35

10月 会員 増減 数・ 出席率	クラブ数	69クラブ
	期首会員数	2,544人
	当月末会員数(女性)	2,630人(177人)
	増加会員数	86人
	当月平均出席率	82.60%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率	
			2018.7.1	2018.10.31	増減	内女性		
7	千 歳	3	69	76	7	9	81.14	
	千歳セントラル	3	39	41	2	8	72.36	
	恵 庭	4	49	53	4	3	81.69	
	北 広 島	5	16	16	0	0	77.14	
	長 沼	3	17	17	0	3	68.63	
	由 仁	2	7	8	1	1	75.00	
	小 計		197	211	14	24	75.99	
8	え り も	2	17	20	3	1	95.00	
	三 石	4	13	13	0	0	80.00	
	様 似	3	17	17	0	1	78.68	
	静 内	5	72	72	0	5	82.50	
	浦 河	2	26	28	2	3	91.00	
	小 計		145	150	5	10	85.44	
	9	伊 達	3	64	65	1	1	75.95
		室 蘭	3	32	34	2	2	67.60
室蘭東		4	34	37	3	3	80.20	
室蘭北		4	46	47	1	2	76.08	
登 別		5	25	25	0	1	84.00	
洞 爺 湖		2	9	9	0	0	100.00	
小 計		210	217	7	9	80.64		
10	函 館	4	76	83	7	1	78.69	
	函館亀田	4	43	43	0	4	73.22	
	森	3	35	35	0	0	65.70	
	七 飯	4	12	12	0	0	60.40	
	長 万 部	2	10	10	0	0	65.00	
	函館セントラル	4	23	23	0	2	77.18	
小 計		199	206	7	7	70.03		
11	江 差	1	10	10	0	1	60.00	
	函館五稜郭	3	54	56	2	0	86.31	
	函 館 東	4	45	45	0	8	73.30	
	函 館 北	3	16	19	3	0	87.42	
	北 斗	4	12	12	0	0	52.00	
小 計		137	142	5	9	71.81		
12	白 老	3	30	30	0	3	88.50	
	苫小牧	4	59	63	4	3	91.53	
	苫小牧東	4	27	26	-1	5	94.34	
	苫小牧北	4	28	28	0	2	96.19	
	小 計		144	147	3	13	92.64	
合 計		2,544	2,630	86	177	82.60		

※札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数13名(内女性会員6名)を含む



表紙写真

札幌市中央区 中島公園の豊平館と新雪

撮影者：野口観光ホテルプロフェッショナル学院・

北海道文教大学外国語学部国際言語学科 講師 今野哲郎

Rotary
District2510

